

令和2年度学校自己評価システムシート (県立大宮中央高等学校)

目指す学校像	多様な学習システムを提供し、生徒一人一人の自己実現を助け、思いやりのある情操豊かな人間の育成を図る。
--------	--

重点目標	1 自ら学ぶ力や人生を切り拓く力を育成する。 2 地域等と連携し、豊かな心や自立して生きる力を育成する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学校関係者評価	
年 度 目 標					令和2年度評価(月日現在)		実施日	令和3年月日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	【通信制の課程】 ①多くの生徒は、学習に前向きに取り組んでいるが、学習に難しさを感じている生徒もいる。 ②進路希望実現のために、外部の教育力の活用を図り、進路意識を高める必要がある。	①生徒が意欲的、計画的に学習を進められるよう指導法を改善する。 ②生徒が進路希望を実現できるようキャリア教育を改善する。	①生徒が意欲的に授業に取り組めるように、レポートや授業、連絡方法について、工夫、改善するとともに、質問、補習等の体制を充実させる。 ②学習サポーター、ハローワークなどの外部の教育力の活用を推進する。	(参考昨年度数値) <input type="checkbox"/> 学習手帳や学習ガイドブック、受講ガイドブックを活用している生徒の割合 83.3%				
	【単位制による通信制の課程】 ①通信制教育システム、かつ、学力差が大きい中、いかに学習習慣をつけさせるか。学力状況をどう把握・分析し、最適な学習を指導するかが課題。単位修得率の向上や卒業生数のさらなる増加が必要である。 ②特別活動や進路指導を通して、卒業後の自立につながるようにしていくことが必要である。		①(自ら学ぶ力の育成) ・レポート、スクーリング、テストが、より有効的に機能するよう、行事予定表を見直す。・ICTや学習動画・資料等を活用する。・学習サポーターを活用する。 ②(人生を切り拓く力の育成) ・特別活動や部活動の在り方を工夫する。 ・通常の進路指導のほか、就職支援アドバイザーや教育相談担当者と連携して、生徒が主体的に自立に向けた進路決定ができるようにする。	<input type="checkbox"/> 授業やスクーリングに意欲的に取り組んでいる生徒の割合 86.2% <input type="checkbox"/> 学力の伸長を実感できた生徒の割合 71.8% <input type="checkbox"/> 進路実現や高校卒業に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 60.8% <input type="checkbox"/> 単位修得率の向上				
	【単位制による定時制の課程】 ①様々な課題を抱えた生徒が在籍し、各々の生徒の学習需要が異なることから、各教科、分掌が連携して一人一人の生徒にきめ細かな指導をしていくことが求められる。 ②生徒の進路意識の一層の向上を図るとともに、進路決定に向けた積極性を培うことが必要である。		①多様な講座を開設し、生徒の学習希望や需要に対応するとともに、新型コロナウイルス感染症対応を含めた社会の要請に適切に対応しつつ本課程の教育システムの持続可能性を高める。 ②履修指導、面談、進路に関する説明会等の機会を活用して、生徒の進路意識を高め、自ら行動を起こせるように支援する。	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 95.6%				
2	【通信制の課程】 ①②特別活動や行事をとおして意欲的な学校生活、そして、自己実現を図らせたい。また、個に応じた教育相談体制を充実させる必要がある。	①生徒の規範意識を向上させる。 ②社会的自立に向けた多様な学びの場を提供する。	①巡回指導を実施し、生徒への声かけを行い、規範意識の向上を図る。 ②学校行事に多くの生徒が参加できるように日程、内容、周知方法等を検討する。また、教育相談室の活用を進める。	<input type="checkbox"/> マナーある行動、けじめのある学校生活を送っている生徒の割合 98.1% <input type="checkbox"/> 自分のよさや課題を理解し、自分の力を伸ばそうと取り組んでいる生徒の割合 67.9%				
	【単位制による通信制の課程】 ①生徒や保護者、地域への発信を強化し、信頼関係に基づく指導や協力関係が行えるようにすることが課題である。 ②単通課程の特色、他課程との違いを対外的に周知することが課題である。		①(生徒・保護者・地域との連携) ・生徒個々の状況を把握することに努め、問題行動の予防的指導と、社会的自立に向けた育成をする。・可能な地域との連携活動を模索する。 ②(対外的周知) ・入学相談会や学校説明会、HP発信等を充実させ、入学後主体的な学習活動が進むようにする。	<input type="checkbox"/> 特別活動 ・参加率32.1% ・満足度95.3% <input type="checkbox"/> 部活動 ・参加率17.7% ・満足度91.9%				
	【単位制による定時制の課程】 ①安心、安全な学習環境はほぼ確立されている。さらに生徒の規範意識を高め、学習に向かう姿勢を育てていくために、引き続き全職員が共通の認識をもって生徒の指導に当たることが重要である。 ②教育相談体制の整備により、生徒への支援は充実しているが、様々な背景を持つ生徒も多く支援をさらに充実させることが求められる。		①「学びたい意欲」を大切に、よりよい学習環境を実現するために全教職員が個々の生徒の状況を踏まえつつ、共通理解を持ち指導にあたる。 ②地域や保護者への発信を積極的に行い、また、地域や学校内外の人材を活用し、教育相談の視点からの生徒への支援を充実することで、生徒の学ぶ意欲を支える。	<input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 94.7%				

